

令和6年度 東京女子医科大学看護学部学校推薦型選抜試験（小論文）
問題用紙

氏名	
----	--

受験番号	
------	--

2022年に亡くなった精神科医の中井久夫は、著書『看護のための精神医学』の冒頭で、次のように述べています。

看護という職業は、医者よりもはるかに古く、はるかにしっかりとした基盤の上に立っている。医者が治せる患者は少ない。しかし看護できない患者はいない。息を引き取るまで、看護だけはできるのだ。

病気の診断がつく患者も、思うほど多くない。診断がつかないとき、医者は困る。あせる。あせらないほうがよいと思うが、やはり、あせる。しかし、看護は、診断をこえたものである。「病める人であること」「生きるうえで心身の不自由な人」——看護にとってそれでほとんど十分なのである。実際、医者の治療行為はよく遅れるが、看護は病院に患者が足を踏み入れた、そのときからもう始まっている。（中井久夫，山口直彦『看護のための精神医学 第2版』医学書院，2004年，2頁）

著者の中井久夫が述べている看護とは、どのようなものだと思いますか。また、中井久夫が述べている看護について、あなたはどのように思いますか。あなたの考えを解答用紙に800字以内で記述してください。